



豊島区 環境基本計画

2025-2030

概要版

SDGs 未来都市としま



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

みんなが主役 地球にも人にもやさしい持続可能な ゼロカーボンシティとしま

「豊島区環境基本条例」の理念を基本とし、「豊島区基本構想」の理念も元として、ゼロカーボンシティを実現するため、豊島区の目指すべき新たな環境都市像を掲げています。また、環境都市像を表現していくための柱として、4つの基本目標（地球温暖化対策・自然共生・資源循環・快適環境）と、それを支える共通目標（区の率先行動及び教育・連携）を加えた5つの目標を掲げます。



豊島区環境基本計画（2025-2030）とは

目的

区の環境保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画です。

推進主体

区民・事業者・区などがそれぞれの取組を通じ、互いに連携を図りながら目標達成を目指します。

計画期間

2025年度から2030年度まで 豊島区環境基本計画（2019-2030）の中間見直し

基本目標Ⅰ

地球温暖化対策

気候変動に適応し、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めるまち

〈包含する分野別計画〉

豊島区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
豊島区気候変動適応計画

目指す姿



- ◆ 区民や事業者の環境問題への意識が高く、省エネルギー設備や再生可能エネルギーの導入が進み、各主体の日常生活や事業活動において脱炭素化が進んでいる。
- ◆ 暑熱軽減や雨水対策など、気候変動により生じる影響への対策等が進んでいる。

施策

I-1 脱炭素に向けた環境にやさしい行動を促進する

- I-1 ★①再生可能エネルギー等の利用促進
- ★②家庭における環境にやさしい行動の普及促進
- ★③事業者における環境にやさしい行動の普及促進

I-2 脱炭素のまちをつくる

- I-2 ①交通環境の改善
- ②自転車利用の促進
- ③建築物の環境配慮
- ④脱炭素化に向けたまちづくりの推進

I-3 気候変動に適応するまちをつくる

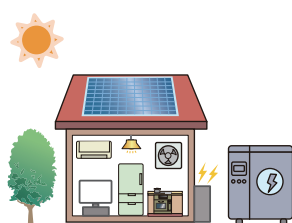
- I-3 ①暑熱環境対策
- ★②熱中症対策
- ③気候変動適応策としての災害対策

主な成果指標と2030年度目標値

- ★ 区内の温室効果ガス排出量 …… 900千t-CO₂eq
- 区内のエネルギー消費量 …… 7,985TJ
- ★ 区内の太陽光発電設置容量 …… 32,500kW

区民ができること

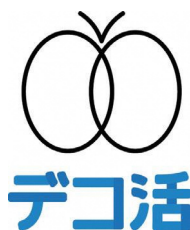
- 冷暖房の適正温度設定やマイボトル・マイバッグの使用など、省エネルギー行動や環境配慮に努める
- クールビズ・ウォームビズを実施する
- 熱中症警戒アラート等に注意し、適切に空調を使用する
- 環境にやさしい電力を取り入れる（太陽光発電システムなど）
- 徒歩・自転車・公共交通機関等を利用する



温室効果ガスの削減目標

2030年度における
温室効果ガス排出量削減目標

2013年度比 **50%削減**



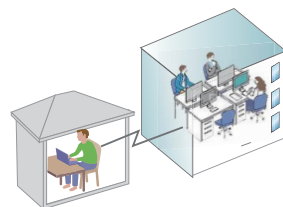
「デコ活」啓発
（環境に優しい行動の普及啓発）



涼みどころ（熱中症対策）

事業者ができること

- 冷暖房の適正温度設定やクールビズ・ウォームビズを実施、環境マネジメントシステムの取得など、省エネルギー行動や環境配慮に努める
- 従業員に対して熱中症対策を実施する
- テレワーク、オフピーク出勤の導入など、省エネにつながる働き方を取り入れる
- 環境にやさしい電力を取り入れる（太陽光発電システムなど）
- オフィス機器は、省エネタイプのものを導入する



基本目標Ⅱ

自然共生

みどりや生きものの豊かさを育み、
人と自然がつながるまち

〈包含する分野別計画〉

豊島区生物多様性地域戦略

目指す姿



- ◆ 高度に都市化が進んだ中でも、民有地も含め、区内のみどりが繋がったみどりのネットワークが形成されていて、生物の生息・生育空間が広がり、安らぎや潤いある自然環境に触れる機会が提供されている。
- ◆ 都市における自然や生態系の大切さの理解が進み、自然とのふれあいや、自然を通じた交流等が進んでいる。

施策

Ⅱ-1 生物多様性を保全する

- Ⅱ-1 ①自然環境や生物に関する調査・把握
- ②自然環境の保全と創出
- ★③生物多様性保全のための学習・参加の場の提供
- ④危険な外来種の情報提供

Ⅱ-2 みどりを保全・創出する

- Ⅱ-2 ①都市空間の緑化推進
- ②公共空間のみどりの保全・再生・創出
- ③身近なみどりの育成
- ④みどりのネットワーク化

Ⅱ-3 人と自然のつながりを深めるまちをつくる

- Ⅱ-3 ★①地域が参加するみどりのまちづくり
- ★②地域の人に親しまれる環境の保全・創出

主な成果指標と2030年度目標値

- ★ みどり率 14.3%
- ★ 「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」
と思う区民の割合 17.4%

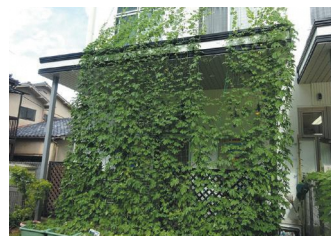
区民ができること

- 生きものを大切にする
- 自然観察会への参加等、動植物や身近な自然にふれあう機会をつくる
- ペット（アメリカザリガニなどの外来生物含む）を飼育する際は、最後まで責任をもって飼育する
- 街路樹や公園のみどりを大切にする
- 屋上緑化、壁面緑化を行う
- 地域の緑化活動に参加する



事業者ができること

- 事業活動において生態系へ配慮する
- 生物多様性に配慮したみどりの保全・創出に努める
- 屋上緑化・壁面緑化、生垣設置等、事業所内の緑化を進める
- 地域の緑化活動に参加する
- 事業所内のみどり空間を開放するなど、地域と一緒に楽しめるみどりづくりを行う



としま生きものさがし
(自然環境や生物に関する調査・把握)



池袋第一小学校（公共空間のみどりの保全・再生・創出）



西巣鴨四丁目児童遊園（地域が参加するみどりのまちづくり）

基本目標Ⅲ

資源循環

ごみを出さないくらしと資源の循環に協働して取り組むまち

目指す姿



- ◆ 持続可能な循環型社会を実現するために、区民・事業者が生産・消費・廃棄において、リデュース・リユースの優先的実践と質の高いリサイクルを推進している。
- ◆ 区民一人ひとりが責任をもって行動し、ごみを適正に分別し排出している。

施策

Ⅲ-1 リデュース・リユースを推進する

- Ⅲ-1 ★①リデュース・リユースによるごみの排出削減
- ★②区民・事業者への啓発・情報発信
- ③食品ロス削減

Ⅲ-2 質の高いリサイクルを実現する

- Ⅲ-2 ★①プラスチック資源回収推進及び更なる資源化の促進
- ②事業系ごみのリサイクル促進
- ③区民・民間事業者との連携・協働

Ⅲ-3 安定的で適正なごみ処理を推進する

- Ⅲ-3 ①適正分別・適正排出の徹底
- ②処理困難物等の適正排出
- ③災害廃棄物対策

主な成果指標と2030年度目標値

- ★ 一人一日あたり区収集ごみ量 463g/人日
- ★ 資源化率 24.1%
- 食品ロスの削減に取り組む区民の割合 80%

区民ができること

- ライフスタイルを見直し、ごみ自体を出さないよう努める
- 食品ロス削減に関する理解を深める
- 排出ルールに従ってごみと資源の分別を行い、資源リサイクルに取り組む
- マイボトルやマイ箸を利用する
- フードシェアリングを活用する
- 3010運動に取り組んで宴会時の食べ残しを減らす



事業者ができること

- ペーパーレス化を進める等、資源の消費を抑える
- ごみと資源の分別を徹底する
- 災害廃棄物処理についての協力を検討する
- 生産者の責任として製品の自主回収を推進する
- まだ食べられる廃棄食品の削減に取り組む
- 流通時の梱包材を必要最小限にし、製品の販売時は簡易な包装にする
- プラスチックの使用を控える



マイボトル用給水機（リデュース・リユースによるごみの排出削減）



資源・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」（適正分別・適正排出の徹底）



食品ロス削減講座（食品ロス削減）

基本目標Ⅳ

快適環境

すべての人が安全・安心・快適な環境の中で暮らし活動できるまち

目指す姿



- ◆ 区民一人ひとりの環境美化意識が高まり、クリーンな大気環境が保たれ、人々が安全で快適に過ごすことができる。

施策

Ⅳ-1 健康・快適な環境を保全する

- Ⅳ-1 ★①公害対策
- ②化学物質の適正管理

Ⅳ-2 美しいまちづくりを推進する

- Ⅳ-2 ★①路上喫煙・ポイ捨て防止対策
- ★②清掃・美化活動の推進
- ③カラスやハクビシン等による被害対策



アスベスト立入検査
(公害対策)



VOC立入指導
(化学物質の適正管理)



としま”まちキレイ”
プロジェクトPRロゴ
(清掃・美化活動の推進)

主な成果指標と2030年度目標値

- ★解体工事における大気汚染防止法の基準
(アスベストに関する作業基準) 適合割合 90%
- ★事業場からのVOC(揮発性有機化合物) 排出量 6,000kg
- ★路上喫煙率 0.02%
- ★「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」
について肯定的な回答をする区民の割合 40.2%



ごみゼロウィーク(路上喫煙・ポイ捨て防止対策)

区民ができること

- VOC排出の少ないスプレー製品や塗料、接着剤を使用し、VOC発生を抑える
- 騒音・悪臭・振動等を発生させないように近隣への配慮を心がける
- ポイ捨て禁止や喫煙マナーの向上を心がける
- 「ごみゼロデー」などの区が実施する施策に協力する
- 地域の美化を促進する活動へ参加する



事業者ができること

- VOC排出の少ない材料等の利用や密封容器への保管などにより、VOC発生を抑える
- 化学物質を適正に管理し、排出削減を図る
- 建設工事などによる騒音・振動などの発生を抑制する
- 公害関係の法令を遵守する
- 地域の環境美化を促進する活動へ参加・協力する
- としまクリーンサポーター制度へ参加・協力する



共通目標

区の率先行動及び教育・連携

区が環境にやさしい取組に率先して取り組み、
人にも地球にもやさしく行動する人の輪を広げるまち

〈包含する分野別計画〉

豊島区環境教育等行動計画

目指す姿



- ◆ 区は区民、事業者・団体等の模範となり、取組を牽引する立場として、区の事業から発生する温室効果ガスの排出削減等環境にやさしい取組が進んでいる。
- ◆ 将来を担う子ども世代の環境意識が高く、区民一人ひとりが環境を自分事として考え、行動できる土壌が形成されている。
- ◆ 区民・事業者との連携・協働により環境への取組が進んでいる。

施策

共-1 区の業務における環境配慮行動を促進する

- 共-1 ①全庁的環境マネジメントシステム
- ★②現場力向上・気運醸成
- ★③区有施設等の温室効果ガス削減
- ④環境配慮型ワークスタイルの推進
- ⑤公共空間のみどりの保全・再生・創出・身近なみどりの育成

共-2 環境行動力向上のための普及啓発・環境教育を促進する

- 共-2 ★①環境行動力向上のための普及啓発
- ★②環境教育・環境学習の推進
- ③環境情報の効果的な発信

共-3 環境人材を育成し、活動の場を広げる

- 共-3 ①環境活動を率いる人材育成
- ②環境活動の拡大

共-4 連携・協働の仕組みをつくる

- 共-4 ①様々な主体との協働推進
- ★②企業・事業者との連携強化
- ③自治体間連携による環境配慮



としま☆デコ活リーダーズ（現場力向上・気運醸成）



プールにいる
ヤゴ等の生きもの学習



豊島区の校庭からはじめる
環境教育

（環境教育・環境学習の推進）



としまの森（自治体間連携による環境配慮）

主な成果指標と2030年度目標値

- ★ 豊島区施設から排出される温室効果ガス排出量…………… 8,420t-CO₂
- ★ 「環境に優しいライフスタイルを実施している」と回答する
区民の割合…………… 89.4%

区民ができること

- 環境教育・学習プログラム、講習会、イベント等へ参加し、日常的に取り組むことができる環境にやさしい行動を実践する
- 環境活動の情報を共有し、ネットワークづくりにつなげる
- 環境に関する本や記事、区の環境情報誌などを読み、環境に関する理解を深める
- 環境リーダー育成講座へ参加するとともに、環境リーダーとして活動を実施する
- 環境交流ツアーに参加するなど自然体験を行う



環境情報誌「エコのわ」

事業者ができること

- 環境に配慮したまちづくりを行い、行政との連携を図る
- 環境教育・学習プログラム、講習会、イベント等へ参加・協力する
- 地域住民向けの環境講座等を実施する
- 従業員研修や社会貢献活動の一環として、環境学習や環境活動を実施する
- 環境に配慮した活動の取組状況の情報提供を行う（ホームページ、SNSや環境報告書の作成・公表など）



ほんの少し

ライフスタイルを 変えてみませんか？

毎日の暮らしのなかで、私たちがどのくらいのCO₂を排出しているか、ちょっとだけ覗いてみましょう。
地球にやさしい暮らしの実現に向けて **いま、できることから** はじめてみませんか？



マイボトルに切り替える ※年間のCO₂削減量…**29kg/人**

※使い捨てペットボトル(500ml)をマイボトルに変えて年間 246 回使った場合



食べきれない量から 食べ残しをなくす ※年間のCO₂削減量…**54kg/人**

※家と外食の食品ロスがゼロになった場合



ごみを分別しない状態から ごみの分別を徹底する ※年間のCO₂削減量…**11kg/人**

※豊島区の家庭から出るプラスチックをすべて資源としてリサイクルした場合



ご近所なら、電車や車を使う生活から 徒歩や自転車を併せて使おう

※年間のCO₂削減量…**4.1kg/人** ※一駅分(電車で1km 移動)、徒歩や自転車を利用した場合



冷蔵庫にもものを詰め込みすぎない ※年間のCO₂削減量…**21.4kg/世帯**

※詰め込んだ場合と半分にした場合



冷房時の室温は 28℃を目安にする ※年間のCO₂削減量…**14.8kg/世帯**



お湯を出しっぱなしの生活から 食器洗いのお湯の量を減らす

※年間のCO₂削減量…**20.9kg/世帯**



ドライヤー使い放題の生活から ドライヤーの使用時間を 1日1 分間減らす

※年間のCO₂削減量…**3.6kg/世帯**



豊島区に住むみなさんですべて取り組むと…

年間の家庭からの二酸化炭素排出量を約 **10%** も減らせます！

(家庭での二酸化炭素排出量約 43 万 1 千トン(2021 年度)のうち

約 4 万トンを削減)



資料:環境省「COOL CHOICE ウェブサイト」「ゼロカーボンアクション30」「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について(平成23年4月)」、東京都「家庭の省エネハンドブック」、豊島区各種統計を参考に作成。なお、人口・世帯数は令和 6 年 6 月時点の住民基本台帳による。

豊島区環境基本計画 2025-2030(概要版) 令和7(2025)年3月発行

豊島区環境基本計画の全文は

区ホームページからご覧いただけます

[編集・発行] 豊島区 環境清掃部 環境政策課

〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1 TEL03-3981-1597(直通)



この印刷物は環境に配慮し、FSC® 認証材及び管理材料からつくられています。印刷に植物油インキを使用し、廃液の排出を少なくした水なし印刷方式を採用しています。この冊子を作成した際に排出したCO₂はカーボンフリーコンサルティング(株)を通してオフセットされ地球温暖化に貢献します。